

東北地方 1 か月予報

(6 月 7 日から 7 月 6 日までの天候見通し)

平成 1 5 年 6 月 6 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

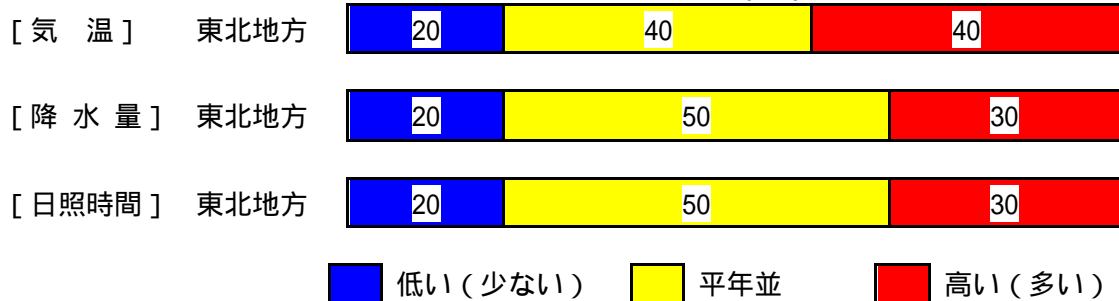
向こう 1 か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気は概ね周期的に変わりますが、前線や低気圧の影響を受けやすく、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

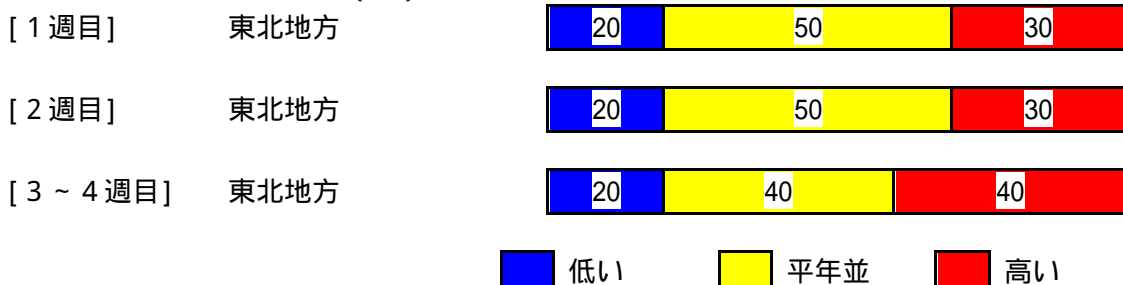
向こう 1 か月の気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目、2 週目は平年並、3 ~ 4 週目は平年並か高い見込みです。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 6 月 7 日 (土) ~ 7 月 6 日 (日)
1 週目 : 6 月 7 日 (土) ~ 6 月 1 3 日 (金)
2 週目 : 6 月 1 4 日 (土) ~ 6 月 2 0 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 6 月 2 1 日 (土) ~ 7 月 4 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 6 月 1 3 日
3 か月予報 : 6 月 2 5 日 (水) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	17.9	177.2	141.6	16.9	17.5	18.4
新庄	19.3	155.7	142.8	18.3	18.9	19.8
若松	20.4	138.5	147.4	19.5	20.1	20.9
深浦	17.9	118.7	173.2	16.6	17.3	18.6
青森	17.7	88.0	175.8	16.5	17.1	18.3
むつ	16.2	118.5	154.9	15.2	15.7	16.8
八戸	16.8	111.0	162.8	15.8	16.3	17.3
秋田	19.5	150.3	168.9	18.3	19.1	20.2
盛岡	18.8	128.6	142.3	17.8	18.4	19.2
宮古	16.6	128.5	134.7	15.7	16.2	17.1
酒田	20.0	153.3	165.2	18.9	19.5	20.5
山形	20.1	116.6	143.0	19.3	19.7	20.5
仙台	18.9	155.9	118.0	18.0	18.5	19.3
石巻	18.2	125.0	135.8	17.2	17.8	18.7
福島	20.4	134.1	120.3	19.7	20.1	20.7
白河	19.0	184.8	112.0	18.1	18.6	19.3
小名浜	18.9	160.2	128.1	17.9	18.4	19.4

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6～+0.5	84～115	94～107
東北日本海側	-0.5～+0.3	77～106	94～105
東北太平洋側	-0.6～+0.5	86～107	91～109

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6～+0.5	-0.6～+0.5	-0.4～+0.3
東北日本海側	-0.6～+0.4	-0.6～+0.4	-0.5～+0.4
東北太平洋側	-0.7～+0.7	-0.6～+0.6	-0.6～+0.3

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率 60％の予報 10 例では、そのうちの 6 回で予報した階級が実際に起こり、4 回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに 33％）から大きく隔たった確率（10％や 60％、70％など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 15 年 6 月 6 日 仙台管区气象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(6 月 7 日～7 月 6 日)：

天気は概ね周期的に変わりますが、前線や低気圧の影響を受けやすく、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1 週目(6 月 7 日～6 月 13 日)：

期間の前半は高気圧に覆われ概ね晴れますが、後半は前線の影響で曇りの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2 週目(6 月 14 日～6 月 20 日)：

前線や低気圧の影響を受けやすく、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目(6 月 21 日～7 月 4 日)：

天気は概ね周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

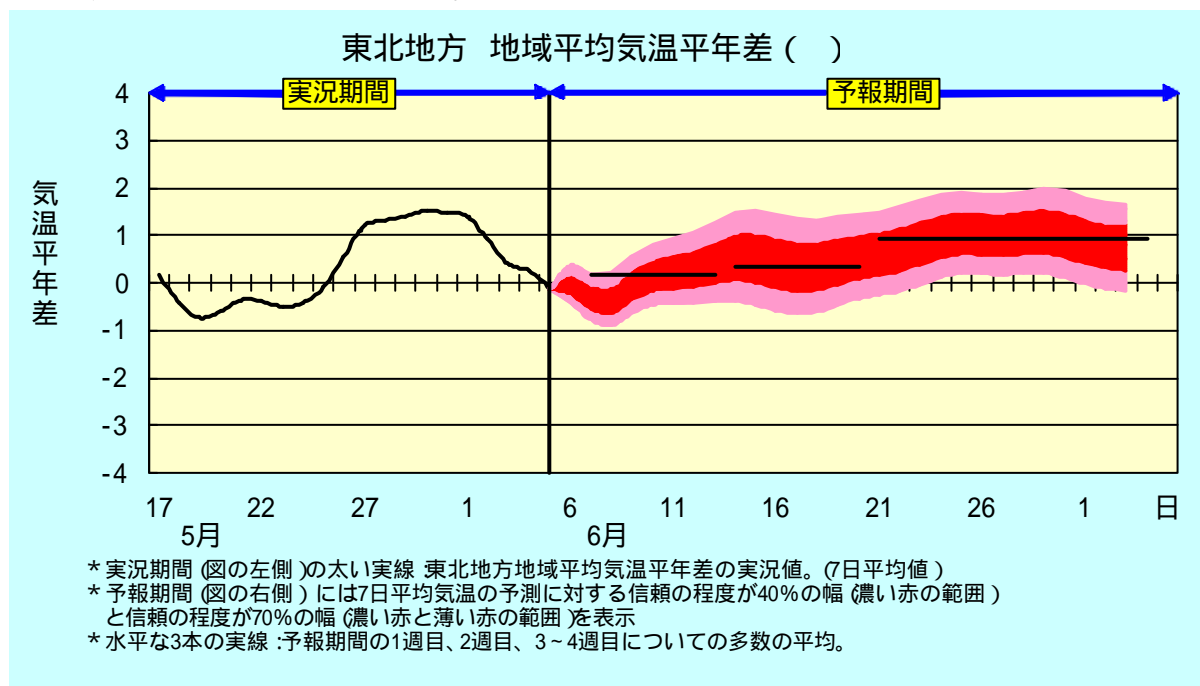
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	12.4 日	3.5 日	3.3 日	5.6 日
東北太平洋側	10.4 日	3.0 日	2.8 日	4.6 日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目と 2 週目「平年並」、3～4 週目「高い」と予測している。予報は、その他の資料から 3～4 週目を「平年並か高い」に変更するほかは、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

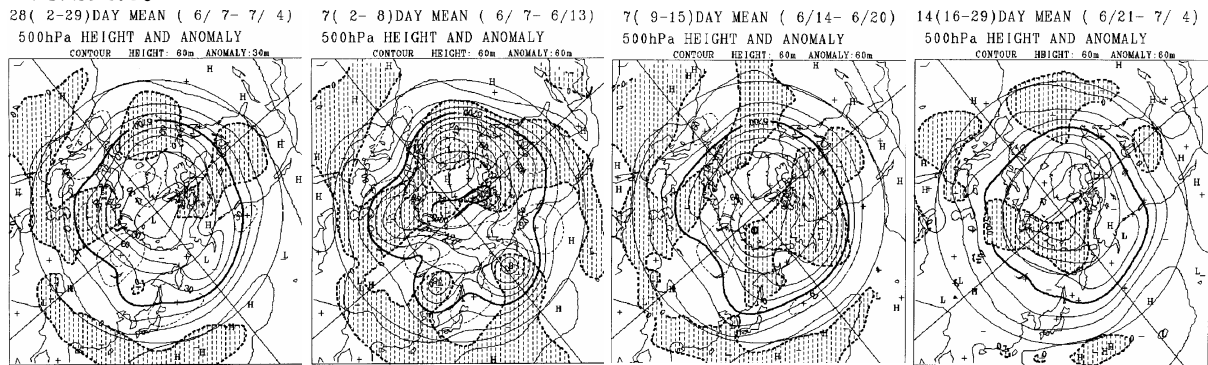


3．数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本の南海上一帯が負偏差となるが、千島近海に中心をもつ正偏差が北日本や東日本を覆う。日本の西が谷場（西谷）となり、また、サハリンには地上のオホーツク海高気圧に対応する気圧の尾根が予想され、前線や低気圧、オホーツク海高気圧の影響を受けやすい。

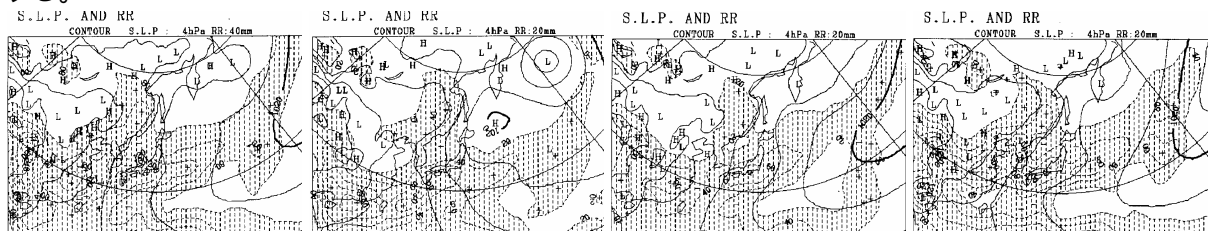
週別に見ると、1週目は日本の東海上が気圧の尾根となり、正偏差が北日本を覆う。2週目は、オホーツク海が負偏差に覆われる。一方、本州付近は西谷で前線や低気圧の影響を受けやすい。3～4週目は、日本の南海上では太平洋高気圧が張り出す。本州付近は東西流が卓越し、天気は概ね周期変化。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本の南岸が低圧部となり、前線に対応するまとまった降水域が予想される。

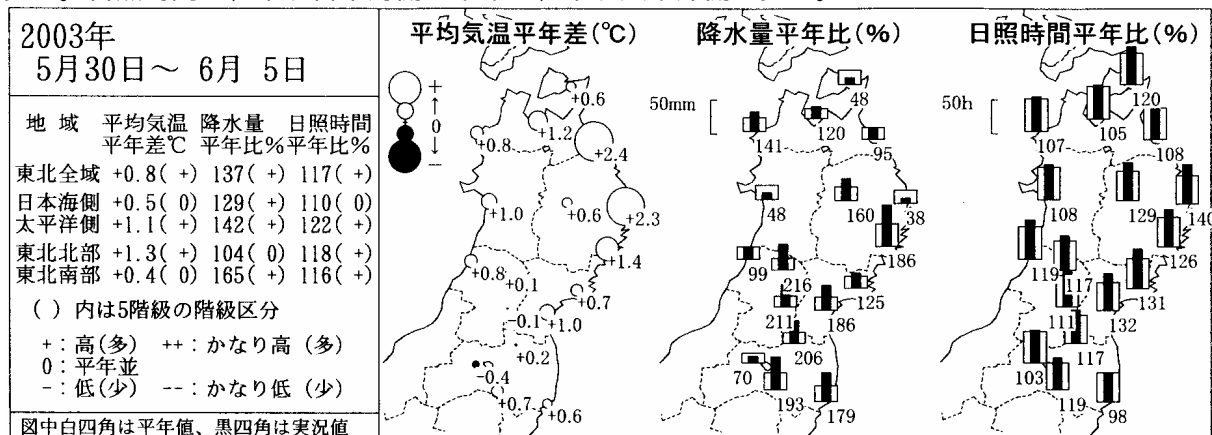
週別に見ると、1週目は、日本の南岸に前線に対応する低圧部や降水域が予想される。千島近海には高気圧が予想される。2週目以降、日本の南岸の低圧部や降水域が1週目に比べやや北上する。



4．最近1週間（5月30日～6月5日）の天候の経過

31～1日に、愛媛県宇和島市付近に上陸した台風第4号から変わった低気圧や前線の影響で雨となった。台風の上陸は1951年以降3番目に早い記録で、5月としては1965年以来38年ぶりとなった。その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れた。

平均気温は、東三陸で高く、東北南部で平年並。降水量は、東三陸で平年並、東北南部で多い。日照時間は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)